

○ 昭和四三年度総会は六月九日（日）、荷揚町林業会館一ホールで開かれました。

研究発表

日出地方の先縄文時代について

佐藤 暁氏

文祿検地における臼杵町屋敷と石盛

佐藤 満洋氏

日出湊の問

野口 喜久雄氏

地租改正と林野の地積について

勝目 忍氏

高崎山の道標について

立川 輝信氏

大野川・芹川流域地方の歴史と観光開発

兼子 俊一氏

公開講演

豊後大神一族高田次郎隆澄について

富来 隆氏

分県の歴史と文化」出版に協力、(7)その他でした。両議案とも異議なく承認され、めでたく終了いたしました。

○ 中野幡能氏学位取得祝賀会

中野幡能氏がさきに刊行された大著「八幡信仰史の研究」(吉川

弘文館刊)で、文学博士の学位をうけられたのを祝って、祝賀会が

六月九日、四三年度総会終了後、大分駅前第一生命ビル内、レスト

ラン ニュー大分で開かれました。約四〇名の参加者が氏の業績を

たぐえ、盛会裡に散会しました。

○ 古文書解読講習会

七月二十九日・三〇日の両日、県立図書館主催で、初歩的な史料解

読能力を養成するという趣旨の講習会が開かれました。講師は本会

々員の富来隆氏でした。

編集後記

総会では、昭和四三年度会計報告ならびに事業報告があり、それぞれ承認されました。ついで、四三年度予算案と事業計画が審議されま

した。予算案は総額四万余円。事業計画は(1)講演会・研究会の開催

(2)機関誌の刊行(五〇―五三号)、(3)大分県地方史料双書の刊行、(4)

実地見学旅行の実施、(5)文化財・庶民史料の調査保存に協力、(6)「大

五一号をお届けします。本号には五編の論稿を収めました。

巻頭の長谷川哲郎氏の「大分県を中心に調査した柔術」揚心流に

ついては、わが国の講道館柔道の根本理念の形成に強い影響を与え

た揚心流の文献と資料を広く調査・研究し、武術としての揚心流の特